

# 新たな産業団地の整備計画 概要（案）に関する意見募集の結果について

## 1. 意見募集の概要

- (1) 意見募集の対象 新たな産業団地の整備計画 概要（案）
- (2) 意見募集の期間 令和元年6月24日（月）から令和元年7月16日（火）まで
- (3) 意見募集の方法 市のホームページに資料の掲載  
市役所、公共施設等で資料の縦覧・配布

## 2. 結果の概要

- ・意見数（意見提出者数） 11件（6人）
  - 電子メール 3人
  - 郵送 1人
  - 直接持参 2人

## 3. 意見の内容

受理した意見の内容とそれに対する市の考え方は次のとおりです。なお、ご意見は内容ごとに整理・分類した上で、一部要約または分割して掲載しましたのでご了承ください。

No.	意見（概要）	市の考え方
【新たな産業団地の整備方針に関する内容】		
1	新たな産業団地の整備予定地には、以前、流通センター等の計画があったが、立ち消えとなったと認識している。そのような中、国指定の古墳群の中心と言える天下神社を有する天下地区に、市全体として、どのような位置づけで、新たな産業団地を整備していくのか。	<p>今回の整備予定地は、平成7年度に公表した「クリアパーク延岡」の基本計画の中で「流通団地ゾーン」として位置付けており、現在の「第6次延岡市長期総合計画」においても、「継続的な整備を進め、産業拠点の形成に努める」としております。</p> <p>こうしたことを踏まえ、平成29年度に適地選定調査を行い、高速道路の整備が進む中でインターチェンジからのアクセス性が高く、津波等の災害に対するリスクが低いことなど、多くの面で産業団地としての適性に優れているとの結果を得たところです。</p> <p>また、このたび完売したクリアパーク延岡工業団地の立地企業からも、この地域の優位性が立地の決め手になったと伺っています。</p> <p>さらに、今回の産業団地の整備は、宮崎県内で最も人口が減少している本市にとって、人口減少に歯止めをかけるために、何としても実施しなければならない事業と考えており、そうした観点からも、本市の人口減少という喫緊の課題に対して雇用の場の創出が得られることや、地域経済への波及効果が大きいことなどから、総合的に判断し、今回の産業団地の整備は本市の重要な施策として考えております。</p> <p>（次頁につづく）</p>
2	<p>書物等によれば、高千穂町からニニギノミコトがたどり着いた土地が延岡市天下町とされ、新たな産業団地の整備予定地は、ニニギノミコトが景色を眺めた丘陵地帯だと考える。</p> <p>このため、整備予定地域は、将来の観光資源としての活用を図る事が最も適している。将来、遊歩道や憩いの場を設けたり、歴史館を建設したりしてはどうかと考えており、将来の活用のため予定地は現状のまま保存しておくことが必要である。</p>	

No.	意見（概要）	市の考え方
		<p>（前頁からのつづき）</p> <p>また延岡市を、今後、神話の里としてさらなる観光振興に取り組むことや、市史編さんにも着手する中で、古墳をはじめ天下地区の歴史的な財産も大切にしていこうと考えてありますが、このことと、新たな産業団地の整備による雇用の場づくりとは、両立が可能なものとして、ともに進めていかなければならないと考えております。</p>
【新たな産業団地の整備計画の具体的な項目に関する内容】		
3	<p>延岡市は人口減少が深刻であり、その解決のためにも新産業団地整備計画は必要である。令和5年度完成予定を前倒しして早期の完成を望む。</p>	<p>人口減少に何としても歯止めをかけるためにも、雇用の場を増やすことは喫緊の課題と考えております。</p> <p>今回の整備計画におきましては、設計、用地取得、開発許可、造成工事などの工程を踏む以上、一定の期間が必要と考えておりますが、市としても早期の完成を目指してまいります。</p>
4	<p>新しい産業団地の近くには、ガソリンスタンドが必要である。</p> <p>また、西階地区や天下地区は高速道路利用者の玄関口である。延岡市の魅力をアピールするため、今回の産業団地の一画に、名産品等を販売できる施設が必要である。</p>	<p>新たな産業団地の整備は、同時に団地の周辺に店舗等が立地する可能性を広げることにもなると考えられますし、周辺にガソリンスタンドが進出する事も考えられます。</p> <p>ご提案の内容につきましては、今後の取組みの中で検討させていただきます。</p>
5	<p>新たな産業団地の分譲面積10haでは誘致企業は数社に留まる。市民にとって予算28億円の投資額に見合うメリットが無い。</p>	<p>既に完売しているクリアパーク延岡工業団地第1工区（約3.9ヘクタール）と第2工区（約9.2ヘクタール）合わせて、13社が立地し、約900名の雇用が実現しようとしております。</p> <p>また、同工区での企業の投資額は、土地や建物、設備等だけでも、合わせて100億円を超えており、それら建設工事等の多くは地元企業へ発注されていることなどから、投資額以上の効果が実現していると考えており、今回整備予定の新たな産業団地におきましても、同様に、高い経済効果が見込まれると考えております。</p> <p>さらに、延岡市の人口減少の現状を見ると、特に15～24歳の若い世代の減少が顕著であり、この世代にとって必要である雇用の場を増やすことは、延岡市の経済にとっても、最も優先度の高い施策であると考えております。</p>

No.	意見（概要）	市の考え方
6	住宅が接近しており工業団地には適さない。	<p>整備予定地の東側に住宅があることから、地域の方々とは、これまでも複数回、意見交換を行っているところであります。</p> <p>新たな産業団地を計画する中で、住宅との間には緑地等の緩衝帯を設けることで、市民の皆様の生活に影響が無いようにするなど考えておりますが、いずれにいたしましても、計画の推進にあたっては、地域の方々との協議を機会あるごとに行い、住民の皆様方の生活の場を守りながら、調和のとれた形で産業団地を整備するよう事業を進めてまいります。</p>
【新たな産業団地の整備予定地域の住民の皆様への理解や環境の整備等に関する内容】		
7	新産業団地を含め、クリアパークから主要な国道218号へのアクセスについては、信号の設置や交差点の整備など、安全を考慮した対応が必要である。	<p>企業活動はもとより、地域住民の方々の安全性や利便性の向上のため、主要な道路へのアクセスの改善や、地域内道路の利便性の向上などを含め、地域の方々との協議を機会あるごとに行っているところであります。</p> <p>このような協議等を行いながら、国道218号へのアクセスにつきましても、安全の確保をはじめ様々な面から課題の解決を図ってまいります。</p>
8	クリアパーク延岡工業団地の建設の際に、取組むべき調整池の污水問題や渋滞緩和、大雨時の道路の冠水などの問題が未解決のままである。	<p>地域住民の方々の安全性の向上や日常生活の課題を解決するため、今回の産業団地の整備に合わせて、新たな道路を整備し、交通渋滞に対する解決を図りたいと考えております。</p> <p>また、地域内の道路を利用する企業の方々や大学の学生さん等を中心に、交通安全に関する啓発を進めてまいります。</p> <p>また、調整池につきましても、今年度中に池の水の入れ換えなどの対策を行なうとともに、道路の冠水対策につきましても、地域全体の流量計算を改めて行い、しっかりと対策を行なってまいります。</p> <p>地域の皆様方にも、これまで複数回にわたりご説明してきたところであり、様々な課題を解決するために、これからも地域の方々との機会あるごとに協議を行なってまいります。</p>

No.	意見（概要）	市の考え方
9	<p>公共施設の重要性や地域全体の発展が大事なことは理解できるし、新たな事業計画の策定の際の、行政手続や予算確保が容易ではないことも理解できるが、住民との協議が後回しになっている。</p> <p>そのような中、国の事業等により、地区住民の一割は現在の住まいからの移転を余儀なくされている。</p> <p>今回の計画も含めて、地区住民との協議が後回しになっていると感じる。また今回の計画では、地区住民の中にも反対があり、地区を分裂に追い込んではいないと考える。</p>	<p>地域住民の皆様には、これまででも度重なる公共工事等により、先代から受け継いできた大切な財産等を譲渡していただき、心から感謝いたしております。</p> <p>新たな産業団地の整備に関しまして、地域の方々の様々なご意見があることは承知しておりますが、現在の天下地区の課題である渋滞などを大きく改善する契機になることや、店舗等の進出の可能性も広がり、住民の皆様の生活にとってプラスになり得ること、さらには、本市の人口減少という喫緊の課題に対して雇用の場の創出が得られるということや、地域経済への波及効果が大きいことなどから、今回の計画は、本市にとりましても大変重要な取組みであると考えております。</p> <p>地域の方々とは、これまででも複数回にわたり協議をさせていただいており、これからも、地域の課題解決や計画の推進について、機会あるごとに協議させていただきたいと考えております。</p> <p>また、国の事業に伴い移転を余儀なくされる方で、引き続き天下地区内にお住まいになることを希望される方について、市としても相談対応等しっかり行なってまいります。</p>
<b>【企業誘致活動や立地企業に関する内容】</b>		
10	<p>新たな産業団地に立地する企業は、原材料や製品・建物などの自然環境への配慮、危険物の適正な管理、さらには雨水の再利用、知的財産権に対する速やかな事務処理などを行なう企業とすること。</p> <p>また、従業員の健康や安全を第一に考え、資格、免許の取得促進などを積極的に図る企業とすること。</p>	<p>本市では、これまで、自然環境や安全面の配慮はもとより、福利厚生や人材育成の充実した企業の立地を進めてきたところです。新たな産業団地に関しましても、引き続き、しっかりと企業の立地を進めてまいります。</p> <p>また、企業の福利厚生や人材育成につきましては、本市でも、国や県と連携しながら、様々なセミナーを開催するとともに、企業の取組みに対する支援も行っているところであります。</p> <p>ご指摘の点については、現在世界的に取り組むべきとされている「持続可能な開発目標（SDGs）」と一致する点も多いと考えられますので、SDGsの観念を市民や企業の皆様と共有していくことも大切であると考えております。</p>

No.	意見（概要）	市の考え方
【その他の意見】		
11	<p>リサーチパーク向洋台への早期の企業立地を望む。</p>	<p>企業誘致活動については、新たな産業団地の整備と並行して、現在分譲中の「リサーチパーク向洋台」への立地や、オーダーメイド方式による市有地等への立地、中心市街地への情報関連企業の誘致に、積極的に取り組んでいるところであります。</p> <p>「リサーチパーク向洋台」につきましても、問合せがあることから、引き続き、早期の企業立地を目指してまいります。</p>

※ この他にも、本件には直接該当しないご意見の提出もありましたので、今後の取組の参考にさせていただきます。